



# 県民のおもてなしの心に支えられる国際交流 ～IJSPとJAPAN TENT～

石川県観光戦略推進部国際交流課 小田 陽児

## はじめに

今をさかのぼること60年以上前の昭和31年、金沢市の一般家庭に6名の米国人がホームステイをしました。これが今や国際交流の現場で当たり前に行われているホームステイの日本における初めての受け入れとされています。また、昭和50年代には同じく金沢市で世界各地から参加者を集めた市民グループ主催の日本語講座が開始されました。

このように、石川県では古くから市民レベルの国際交流が盛んに行われており、誌面をお借りして30年以上にわたり続いている二つの国際交流活動について紹介をさせていただきます。

## 石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム (IJSP)

金沢市は、藩政期以来の歴史的な街並みが残り、伝統文化や伝統的な生活様式が人々の生活に今なお生きる城下町です。また、世界農業遺産に認定された「能登の里山・里海」や日本三名山の一つ「白山」に代表される豊かな自然も石川県の特徴です。

こうした地域性を十分に活かし、諸外国の学生などを対象に一般家庭でホームステイをしながら日本語と日本文化を学ぶ石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム (IJSP) を実施しています。

前述の市民グループによる日本語講座を継承して昭和62年に始まったこのプログラムには、これまでに26か国・地域から5,500人を超える研修生が参加しています。米国のプリンストン大学やイタリアのミラノ国立大学をはじめ16の大学で正式に単位認定されているほか、米国連邦政府職員によるマンسفールドフェローの日本語研修にも活用されるなど、海外から大変高い評価をいただいています。

こうした実績が評価され、2014年には自治体として全国初となる日本語教育に関する連携協定を（独）国際交流基金と締結し、日本語研修の一層のレベルアップや海外でのPRの強化に取り組んでいます。



日本語授業の様子



日本文化体験（和太鼓）



## JAPAN TENT

日本各地で学ぶ留学生を夏休み中に石川県に招いて、石川県の美しい自然や豊かな文化に触れながら県民との交流を深める JAPAN TENT は 1988 年に産声を上げました。これまでに 167 の国や地域から約 1 万人の留学生が参加しており、石川県民にとっては夏の風物詩になっている国際交流イベントです。

全国から集まった留学生は、滞在期間の 1 週間を一般家庭でホームステイをしながら、県内自治体がそれぞれ独自に行う文化体験などの市町プログラムやさまざまな交流イベントへの参加を通して、石川県に対する理解を深め、県民との交流を深めます。

来日歴の長い留学生でも日本の一般家庭に招かれた経験のない方もいます。JAPAN TENT に参加し、初めて日本人の家に泊り、手作りの家庭料理を味わい、家族の一員として日常生活を共にすることで、飾らない普段着姿の日本人と交流できたと感激する留学生は少なくありません。



JAPAN TENT 参加留学生達（第 30 回記念作品前にて）

## ホストファミリーとの心の交流

IJSP と JAPAN TENT に共通する最大の特徴は、一般家庭でのホームステイです。

石川県は、人口あたりのホストファミリー数が全国トップを誇ります。ホストファミリーをする理由は、子供の教育のため、あるいは子供が独立して部屋が空いたからなど、ご家庭によりさまざまですが、ビジターと寝食をともにするうちに情が湧き、本当の家族が一人増えたようだとおっしゃるホストファミリーも少なくありま

せん。受け入れられる側も、はじめは不安だった気持ちがホストファミリーの真心に触れ、このまま居たい、帰りたくないという気持ちに変わっていきます。ホストファミリーのおもてなしの気持ちがビジターに伝わり、言葉や習慣の壁を越えた心の交流が何よりの忘れがたい体験となるのです。

ホームステイで結ばれた絆は、ビジターが帰国した後も途切れることはなく、自国での結婚式に招待され日本のお父さんお母さんとして参加してきた、新しい家族とともにホストファミリー宅に里帰りしてくれたなどという温かなエピソードは挙げればきりがありません。



一般家庭でのホームステイ（IJSP）

## おわりに

ホストファミリーと強い絆で結ばれた海外ビジターは第二の故郷として石川県に愛着を持つ石川ファンであり、世界の各地に広がる彼らのネットワークは石川県の財産と言えます。また、ホストファミリーにとってもビジターとの交流は日本にしながら世界を学ぶ絶好の機会であると同時に、日常的に意識していなかった自国の文化に気づききっかけにもなります。

県民のおもてなしの心に支えられ石川の地に根付いた IJSP と JAPAN TENT は、石川県と世界をつなぐかけはしとして大きな役割を果たしてきました。グローバル化の進展とともに国際情勢が複雑さを増し、草の根レベルの国際交流がこれまで以上に重要になってきています。今後とも、この石川県独自の二つの国際交流活動の一層の充実を図り、国や言語を超えた心と心の交流を推進していきたいと思っております。